



# FlexVolのテープ バックアップおよびリストアに関するエラー メッセージ ONTAP 9

NetApp  
February 12, 2026

# 目次

FlexVolのテープ バックアップおよびリストアに関するエラー メッセージ	1
バックアップおよびリストアに関するエラー メッセージ	1
Resource limitation: no available thread	1
Tape reservation preempted	1
Could not initialize media	1
Maximum number of allowed dumps or restores (maximum session limit) in progress	2
Media error on tape write	2
Tape write failed	2
Tape write failed - new tape encountered media error	3
Tape write failed - new tape is broken or write protected	3
Tape write failed - new tape is already at the end of media	3
Tape write error	4
Media error on tape read	4
Tape read error	4
Already at the end of tape	4
Tape record size is too small. Try a larger size.	5
Tape record size should be block_size1 and not block_size2	5
Tape record size must be in the range between 4KB and 256KB	5
NDMPに関するエラー メッセージ	6
Network communication error	6
Message from Read Socket: error_string	6
Message from Write Dirnet: error_string	6
Read Socket received EOF	7
ndmpd invalid version number: version_number ``	7
ndmpd session session_ID not active	7
Could not obtain vol ref for Volume volume_name	7
Data connection type ["NDMP4_ADDR_TCP" "NDMP4_ADDR_TCP_IPv6"] not supported for ["IPv6" "IPv4"] control connections	8
DATA LISTEN : CABデータ接続準備の前提条件エラー	8
DATA CONNECT : CAB データ接続準備の前提条件エラー	8
Error:show failed: Cannot get password for user '<username>'	9
ダンプに関するエラー メッセージ	9
Destination volume is read-only	9
Destination qtree is read-only	9
Dumps temporarily disabled on volume, try again	10
NFS labels not recognized	10
No files were created	10
ファイル<file name>の復元に失敗しました	11
src inode <inode number>の切り捨てに失敗しました...	11
Unable to lock a snapshot needed by dump	11
Unable to locate bitmap files	12
Volume is temporarily in a transitional state	12

SMTapeに関するエラー メッセージ	12
Chunks out of order	12
Chunk format not supported	13
Failed to allocate memory	13
Failed to get data buffer	13
Failed to find snapshot	13
Failed to create snapshot	14
Failed to lock snapshot	14
Failed to delete snapshot	14
Failed to get latest snapshot	15
Failed to load new tape	15
Failed to initialize tape	15
Failed to initialize restore stream	16
Failed to read backup image	16
Image header missing or corrupted	17
Internal assertion	17
Invalid backup image magic number	17
Invalid backup image checksum	17
Invalid input tape	18
Invalid volume path	18
Mismatch in backup set ID	18
Mismatch in backup time stamp	19
Job aborted due to shutdown	19
Snapshot の自動削除によりジョブが中止されました	19
Tape is currently in use by other operations	19
Tapes out of order	20
Transfer failed (Aborted due to MetroCluster operation)	20
Transfer failed (ARL initiated abort)	20
Transfer failed (CFO initiated abort)	21
Transfer failed (SFO initiated abort)	21
Underlying aggregate under migration	21
Volume is currently under migration	21
ボリュームはオフライン	22
Volume not restricted	22

# FlexVolのテープ バックアップおよびリストアに関するエラー メッセージ

## バックアップおよびリストアに関するエラー メッセージ

### Resource limitation: no available thread

- メッセージ

Resource limitation: no available thread

- 原因

現在、アクティブなローカル テープ I/O スレッドの最大数が使用されています。アクティブなローカル テープ ドライブは最大16台まで使用できます。

- 対処方法

いくつかのテープ ジョブが完了するまで待ってから、新しいバックアップ ジョブまたはリストア ジョブを開始します。

### Tape reservation preempted

- メッセージ

Tape reservation preempted

- 原因

テープ ドライブが別の処理で使用されているか、テープがすでに閉じられています。

- 対処方法

テープ ドライブが別の処理で使用されていないこと、およびDMAアプリケーションによってジョブが中断されていないことを確認してから、再試行します。

### Could not initialize media

- メッセージ

Could not initialize media

- 原因

このエラーは、次のいずれかの原因で発生する可能性があります。

- バックアップに使用したテープ ドライブが破損または損傷しています。
- テープには完全なバックアップが含まれていないか、破損しています。

- 現在、アクティブなローカル テープ I/O スレッドの最大数が使用されています。

アクティブなローカル テープ ドライブは最大 16 台まで使用できます。

- 対処方法

- テープ ドライブが破損または損傷している場合は、有効なテープ ドライブで操作を再試行してください。
- テープ内に完全なバックアップが含まれていないか破損している場合は、復元操作を実行できません。
- テープ リソースが利用できない場合は、一部のバックアップ ジョブまたはリストア ジョブが完了するまで待ってから、操作を再試行してください。

## Maximum number of allowed dumps or restores (maximum session limit) in progress

- メッセージ

```
Maximum number of allowed dumps or restores (maximum session limit) in progress
```

- 原因

最大数のバックアップ ジョブまたはリストア ジョブがすでに実行中です。

- 対処方法

現在実行中のジョブがいくつか完了してから、処理を再試行します。

## Media error on tape write

- メッセージ

```
Media error on tape write
```

- 原因

バックアップに使用するテープが破損しています。

- 対処方法

テープを取り替えて、バックアップ ジョブを再試行します。

## Tape write failed

- メッセージ

```
Tape write failed
```

- 原因

バックアップに使用するテープが破損しています。

- 対処方法

テープを取り替えて、バックアップ ジョブを再試行します。

## **Tape write failed - new tape encountered media error**

- メッセージ

Tape write failed - new tape encountered media error

- 原因

バックアップに使用するテープが破損しています。

- 対処方法

テープを取り替えて、バックアップを再試行します。

## **Tape write failed - new tape is broken or write protected**

- メッセージ

Tape write failed - new tape is broken or write protected

- 原因

バックアップに使用するテープが破損しているか、テープに書き込み保護がかけられています。

- 対処方法

テープを取り替えて、バックアップを再試行します。

## **Tape write failed - new tape is already at the end of media**

- メッセージ

Tape write failed - new tape is already at the end of media

- 原因

テープにはバックアップを完了できるだけのスペースがありません。

- 対処方法

テープを取り替えて、バックアップを再試行します。

## Tape write error

- メッセージ

Tape write error - The previous tape had less than the required minimum capacity, size MB, for this tape operation, The operation should be restarted from the beginning

- 原因

テープ容量が不足していてバックアップ データを格納することができません。

- 対処方法

より大きな容量のテープを使用して、バックアップ ジョブを再試行します。

## Media error on tape read

- メッセージ

Media error on tape read

- 原因

データのリストア元のテープが破損しており、テープに完全なバックアップ データが含まれていない可能性があります。

- 対処方法

テープに完全なバックアップが含まれていることがわかっている場合は、リストア処理を再試行します。テープに完全なバックアップが含まれていなければ、リストア処理は実行できません。

## Tape read error

- メッセージ

Tape read error

- 原因

テープ ドライブが破損しているか、テープに完全なバックアップが含まれていません。

- 対処方法

テープ ドライブが破損している場合は、別のテープ ドライブを使用します。テープに完全なバックアップが含まれていない場合は、データをリストアできません。

## Already at the end of tape

- メッセージ

Already at the end of tape

- 原因

テープにデータが含まれていないか、テープを巻き戻す必要があります。

- 対処方法

テープにデータが含まれていない場合は、バックアップが含まれているテープを使用してリストア ジョブを再試行します。テープにデータが含まれている場合は、テープを巻き戻してリストア ジョブを再試行します。

## **Tape record size is too small.Try a larger size.**

- メッセージ

Tape record size is too small. Try a larger size.

- 原因

バックアップ時に使用されたブロック化因数より小さいブロック化因数がリストア処理に指定されました。

- 対処方法

バックアップ時に指定したのと同じブロック化因数を使用します。

## **Tape record size should be block\_size1 and not block\_size2**

- メッセージ

Tape record size should be block\_size1 and not block\_size2

- 原因

ローカル リストアに指定されたブロック化因数が正しくありません。

- 対処方法

``block\_size1``をブロック係数として復元ジョブを再試行します。

## **Tape record size must be in the range between 4KB and 256KB**

- メッセージ

Tape record size must be in the range between 4KB and 256KB

- 原因

バックアップまたはリストア処理に指定されたブロック化因数が、許容範囲内に収まっていません。

- 対処方法

ブロック化因数を、4~256KBの範囲で指定します。

## NDMPに関するエラー メッセージ

### Network communication error

- メッセージ

Network communication error

- 原因

NDMP 3ウェイ接続でのリモート テープとの通信に失敗しました。

- 対処方法

リモート ムーバーとのネットワーク接続を確認します。

### Message from Read Socket: error\_string

- メッセージ

Message from Read Socket: error\_string

- 原因

NDMP 3ウェイ接続でのリモート テープからのリストア通信でエラーが発生しています。

- 対処方法

リモート ムーバーとのネットワーク接続を確認します。

### Message from Write Dirnet: error\_string

- メッセージ

Message from Write Dirnet: error\_string

- 原因

NDMP 3ウェイ接続でのリモート テープとのバックアップ通信でエラーが発生しています。

- 対処方法

リモート ムーバーとのネットワーク接続を確認します。

## Read Socket received EOF

- メッセージ

```
Read Socket received EOF
```

- 原因

NDMP 3ウェイ接続でリモート テープとの通信が試行されましたが、ファイルの終わりを示すマークに到達しました。ブロック サイズが大きいバックアップ イメージから3ウェイ リストアを試行している可能性があります。

- 対処方法

正しいブロック サイズを指定して、リストア処理を再試行します。

## ndmpd invalid version number: version\_number ``

- メッセージ

```
ndmpd invalid version number: version_number
```

- 原因

指定したNDMPバージョンがストレージ システムでサポートされていません。

- 対処方法

NDMPバージョン4を指定します。

## ndmpd session session\_ID not active

- メッセージ

```
ndmpd session session_ID not active
```

- 原因

NDMPセッションが存在していない可能性があります。

- 対処方法

``ndmpd status``コマンドを使用して、アクティブなNDMPセッションを表示します。

## Could not obtain vol ref for Volume volume\_name

- メッセージ

```
Could not obtain vol ref for Volume vol_name
```

- 原因

ボリュームが他の処理で使用されている可能性があるため、ボリューム参照を取得できませんでした。

- 対処方法

あとで処理を再試行します。

## **Data connection type ["NDMP4\_ADDR\_TCP"|"NDMP4\_ADDR\_TCP\_IPv6"] not supported for ["IPv6"|"IPv4"] control connections**

- メッセージ

```
Data connection type ["NDMP4_ADDR_TCP"|"NDMP4_ADDR_TCP_IPv6"] not supported for ["IPv6"|"IPv4"] control connections
```

- 原因

ノードを対象としたNDMPモードでは、確立されたNDMPデータ接続のネットワーク アドレス タイプ (IPv4またはIPv6) がNDMP制御接続と同じである必要があります。

- 対処方法

バックアップ アプリケーションのベンダーにお問い合わせください。

## **DATA LISTEN : CABデータ接続準備の前提条件エラー**

- メッセージ

```
DATA LISTEN: CAB data connection prepare precondition error
```

- 原因

バックアップ アプリケーションがCAB拡張に関してNDMPサーバとネゴシエートし、NDMP\_CAB\_DATA\_CONN\_PREPAREメッセージとNDMP\_DATA\_LISTENメッセージで指定されているNDMPデータ接続のアドレス タイプが異なる場合、NDMPデータ リスンは失敗します。

- 対処方法

バックアップ アプリケーションのベンダーにお問い合わせください。

## **DATA CONNECT : CAB データ接続準備の前提条件エラー**

- メッセージ

```
DATA CONNECT: CAB data connection prepare precondition error
```

- 原因

バックアップ アプリケーションがCAB拡張に関してNDMPサーバとネゴシエート

し、NDMP\_CAB\_DATA\_CONN\_PREPAREメッセージとNDMP\_DATA\_CONNECTメッセージ間で、指定されたNDMPデータ接続のアドレスタイプが一致しない場合は、NDMPデータ接続が失敗します。

- 対処方法

バックアップアプリケーションのベンダーにお問い合わせください。

## **Error:show failed: Cannot get password for user '<username>'**

- メッセージ

```
Error: show failed: Cannot get password for user '<username>'
```

- 原因

NDMP用のユーザ アカウントの設定が完了していません。

- 対処方法

ユーザ アカウントにSSHのアクセス方式を関連付け、認証方法としてユーザ パスワードを指定します。

## ダンプに関するエラー メッセージ

### **Destination volume is read-only**

- メッセージ

```
Destination volume is read-only
```

- 原因

リストア先のパスが読み取り専用です。

- 対処方法

データを別の場所にリストアしてください。

### **Destination qtree is read-only**

- メッセージ

```
Destination qtree is read-only
```

- 原因

リストア先のqtreeが読み取り専用です。

- 対処方法

データを別の場所にリストアしてください。

## Dumps temporarily disabled on volume, try again

- メッセージ

```
Dumps temporarily disabled on volume, try again
```

- 原因

SnapMirrorデスティネーション ボリュームで NDMP ダンプ バックアップが試行されます。このボリュームは `snapmirror break` または `snapmirror resync` 操作の一部です。

- 対処方法

```
`snapmirror break` または `snapmirror  
resync` 操作が完了するまで待ってから、ダンプ操作を実行します。
```



SnapMirrorデスティネーション ボリュームの状態が読み取り / 書き込みから読み取り専用  
に、または読み取り専用から読み取り / 書き込みに変わったときは、必ずベースライン バ  
ックアップを実行する必要があります。

### 関連情報

- ["snapmirror break"](#)
- ["snapmirror resync"](#)

## NFS labels not recognized

- メッセージ

```
Error: Aborting: dump encountered NFS security labels in the file system
```

- 原因

ONTAP 9.9.1以降では、NFSv4.2が有効になっている場合にNFSセキュリティ ラベルがサポートされま  
す。ただし、NFSセキュリティ ラベルは現時点でダンプ エンジンでは認識されません。ファイル、ディ  
レクトリ、またはその他のダンプ形式のファイルでNFSセキュリティ ラベルが検出されると、ダンプは失  
敗します。

- 対処方法

NFSセキュリティ ラベルの付いたファイルやディレクトリがないことを確認します。

## No files were created

- メッセージ

```
No files were created
```

- 原因

拡張DAR機能を有効にしないで、ディレクトリDARが試行されました。

- 対処方法

拡張DAR機能を有効にしてから、DARを再試行します。

## ファイル<file name>の復元に失敗しました

- メッセージ

```
Restore of the file file name failed
```

- 原因

デスティネーション ボリューム上のLUNと名前が同じファイルのDirect Access Recovery (DAR) が実行された場合、そのDARは失敗します。

- 対処方法

ファイルのDARを再試行します。

## src inode <inode number>の切り捨てに失敗しました...

- メッセージ

```
Truncation failed for src inode <inode number>. Error <error number>. Skipping inode.
```

- 原因

ファイルのリストア時に、ファイルのinodeが削除されます。

- 対処方法

ボリューム上のリストア処理が完了するまで待機してから、そのボリュームを使用します。

## Unable to lock a snapshot needed by dump

- メッセージ

```
Unable to lock a snapshot needed by dump
```

- 原因

バックアップに指定されたSnapshotは利用できません。

- 対処方法

別のスナップショットを使用してバックアップを再試行します。

``snap list`` コマンドを使用して、利用可能なスナップショットのリストを表示します。

``snap list`` の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/search.html?q=snap+list](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/search.html?q=snap+list) ["ONTAP コマンド リファレンス"] を参照してください。

## Unable to locate bitmap files

- メッセージ

```
Unable to locate bitmap files
```

- 原因

バックアップ処理に必要なビットマップ ファイルが削除されている可能性があります。削除されている場合は、バックアップを再開できません。

- 対処方法

バックアップを再度実行します。

## Volume is temporarily in a transitional state

- メッセージ

```
Volume is temporarily in a transitional state
```

- 原因

バックアップ対象のボリュームが一時的にマウント解除された状態になっています。

- 対処方法

少し待ってから、再度バックアップを実行します。

## SMTapeに関するエラー メッセージ

### Chunks out of order

- メッセージ

```
Chunks out of order
```

- 原因

バックアップ テープが正しい順序でリストアされていません。

- 対処方法

リストア処理を再試行し、正しい順序でテープを装填します。

## Chunk format not supported

- メッセージ

```
Chunk format not supported
```

- 原因

SMTapeにバックアップ イメージが含まれていません。

- 対処方法

SMTapeにバックアップ イメージが含まれていない場合は、SMTapeバックアップを含むテープを使用して処理を再試行します。

## Failed to allocate memory

- メッセージ

```
Failed to allocate memory
```

- 原因

システムのメモリが不足しています。

- 対処方法

システムがあまりビジー状態でないときに、ジョブを再試行します。

## Failed to get data buffer

- メッセージ

```
Failed to get data buffer
```

- 原因

ストレージ システムのバッファが不足しています。

- 対処方法

ストレージ システムの処理がいくつか完了するのを待ってから、ジョブを再試行します。

## Failed to find snapshot

- メッセージ

Failed to find snapshot

- 原因

バックアップに指定されたSnapshotは利用できません。

- 対処方法

指定されたスナップショットが利用可能かどうかを確認してください。利用できない場合は、正しいスナップショットで再試行してください。

## Failed to create snapshot

- メッセージ

Failed to create snapshot

- 原因

ボリュームにはすでに最大数の Snapshot が含まれています。

- 対処方法

いくつかのスナップショットを削除してから、バックアップ操作を再試行してください。

## Failed to lock snapshot

- メッセージ

Failed to lock snapshot

- 原因

スナップショットは使用中か、削除されています。

- 対処方法

スナップショットが別の操作で使用中の場合は、その操作が完了するまで待ってからバックアップを再試行してください。スナップショットが削除されている場合は、バックアップを実行できません。

## Failed to delete snapshot

- メッセージ

Failed to delete snapshot

- 原因

自動スナップショットは他の操作で使用されているため削除できませんでした。

- 対処方法

`snap` コマンドを使用してスナップショットのステータスを確認します。スナップショットが不要な場合は、手動で削除してください。

## Failed to get latest snapshot

- メッセージ

```
Failed to get latest snapshot
```

- 原因

ボリュームがSnapMirrorによって初期化されているため、最新のスナップショットが存在しない可能性があります。

- 対処方法

初期化が完了してから再試行します。

## Failed to load new tape

- メッセージ

```
Failed to load new tape
```

- 原因

テープ ドライブまたはメディアのエラーです。

- 対処方法

テープを交換して処理を再試行します。

## Failed to initialize tape

- メッセージ

```
Failed to initialize tape
```

- 原因

このエラー メッセージは、次のいずれかの原因で表示されることがあります。

- SMTapeにバックアップ イメージが含まれていません。
- 指定されたテープ ブロッキング係数が正しくありません。
- テープが破損しているか、損傷しています。
- 復元用に間違ったテープがロードされています。

- 対処方法

- バックアップ イメージが SMTape ではない場合は、SMTape バックアップがあるテープを使用して操作を再試行してください。
- ブロッキング ファクタが正しくない場合は、正しいブロッキング ファクタを指定して操作を再試行してください。
- テープが破損している場合は、リストア処理を実行できません。
- 間違ったテープがロードされている場合は、正しいテープを使用して操作を再試行してください。

## Failed to initialize restore stream

- メッセージ

```
Failed to initialize restore stream
```

- 原因

このエラー メッセージは、次のいずれかの原因で表示されることがあります。

- SMTapeにバックアップ イメージが含まれていません。
- 指定されたテープ ブロッキング係数が正しくありません。
- テープが破損しているか、損傷しています。
- 復元用に間違ったテープがロードされています。

- 対処方法

- SMTapeにバックアップ イメージが含まれていない場合は、SMTapeバックアップを含むテープを使用して処理を再試行します。
- ブロッキング ファクタが正しくない場合は、正しいブロッキング ファクタを指定して操作を再試行してください。
- テープが破損している場合は、リストア処理を実行できません。
- 間違ったテープがロードされている場合は、正しいテープを使用して操作を再試行してください。

## Failed to read backup image

- メッセージ

```
Failed to read backup image
```

- 原因

テープが破損しています。

- 対処方法

テープが破損している場合は、リストア処理を実行できません。

## Image header missing or corrupted

- メッセージ

Image header missing or corrupted

- 原因

テープに有効なSMTapeバックアップが含まれていません。

- 対処方法

有効なバックアップが含まれているテープを使用して再試行します。

## Internal assertion

- メッセージ

Internal assertion

- 原因

SMTape内部エラーがあります。

- 対処方法

エラーを報告し、etc/log/backup ファイルをテクニカル サポートに送信します。

## Invalid backup image magic number

- メッセージ

Invalid backup image magic number

- 原因

SMTapeにバックアップ イメージが含まれていません。

- 対処方法

SMTapeにバックアップ イメージが含まれていない場合は、SMTapeバックアップを含むテープを使用して処理を再試行します。

## Invalid backup image checksum

- メッセージ

Invalid backup image checksum

- 原因

テープが破損しています。

- 対処方法

テープが破損している場合は、リストア処理を実行できません。

## Invalid input tape

- メッセージ

```
Invalid input tape
```

- 原因

テープ ヘッダー内のバックアップ イメージのシグネチャが有効ではありません。テープ内のデータが破損しているか、テープに有効なバックアップ イメージが含まれていません。

- 対処方法

有効なバックアップ イメージを使用して、リストア ジョブを再試行します。

## Invalid volume path

- メッセージ

```
Invalid volume path
```

- 原因

バックアップ処理またはリストア処理に指定されたボリュームが見つかりません。

- 対処方法

有効なボリューム パスとボリューム名を指定してジョブを再試行します。

## Mismatch in backup set ID

- メッセージ

```
Mismatch in backup set ID
```

- 原因

テープ交換時に装填されたテープが、バックアップ セットに含まれるテープではありません。

- 対処方法

正しいテープを装填して、ジョブを再試行します。

## Mismatch in backup time stamp

- メッセージ

```
Mismatch in backup time stamp
```

- 原因

テープ交換時に装填されたテープが、バックアップセットに含まれるテープではありません。

- 対処方法

```
`smtape restore -h` コマンドを使用して、テープのヘッダー情報を確認します。
```

## Job aborted due to shutdown

- メッセージ

```
Job aborted due to shutdown
```

- 原因

ストレージシステムをリブート中です。

- 対処方法

ストレージシステムのリブート後にジョブを再試行します。

## Snapshot の自動削除によりジョブが中止されました

- メッセージ

```
Job aborted due to snapshot autodelete
```

- 原因

ボリュームに十分なスペースがないため、Snapshotの自動削除がトリガーされました。

- 対処方法

ボリューム内の空きスペースを増やしてから、ジョブを再試行します。

## Tape is currently in use by other operations

- メッセージ

```
Tape is currently in use by other operations
```

- 原因

テープドライブが別のジョブで使用しています。

- 対処方法

現在アクティブなジョブが完了してから、バックアップを再試行します。

## Tapes out of order

- メッセージ

Tapes out of order

- 原因

リストア処理に使用する一連のテープの最初のテープに、イメージ ヘッダーがありません。

- 対処方法

イメージ ヘッダーの付いたテープを装填して、ジョブを再試行します。

## Transfer failed (Aborted due to MetroCluster operation)

- メッセージ

Transfer failed (Aborted due to MetroCluster operation)

- 原因

スイッチオーバー処理またはスイッチバック処理が原因で、SMTape処理が中止されます。

- 対処方法

スイッチオーバー処理またはスイッチバック処理が終了したあとにSMTape処理を実行します。

## Transfer failed (ARL initiated abort)

- メッセージ

Transfer failed (ARL initiated abort)

- 原因

SMTape処理の実行中にアグリゲートの再配置を開始すると、SMTape処理が中止されます。

- 対処方法

アグリゲートの再配置処理が終了したあとにSMTape処理を実行します。

## Transfer failed (CFO initiated abort)

- メッセージ

Transfer failed (CFO initiated abort)

- 原因

CFOアグリゲートのストレージ フェイルオーバー（テイクオーバーとギブバック）処理が原因で、SMTape処理が中止されます。

- 対処方法

CFOアグリゲートのストレージ フェイルオーバーが終了したあとにSMTape処理を実行します。

## Transfer failed (SFO initiated abort)

- メッセージ

Transfer failed (SFO initiated abort)

- 原因

ストレージ フェイルオーバー（テイクオーバーとギブバック）処理が原因で、SMTape処理が中止されま  
す。

- 対処方法

ストレージ フェイルオーバー（テイクオーバーとギブバック）処理が終了したあとにSMTape処理を実行  
します。

## Underlying aggregate under migration

- メッセージ

Underlying aggregate under migration

- 原因

移行（ストレージ フェイルオーバーまたはアグリゲートの再配置）を実行中のアグリゲートでSMTape処  
理が開始されると、そのSMTape処理は失敗します。

- 対処方法

アグリゲートの移行が終了したあとにSMTape処理を実行します。

## Volume is currently under migration

- メッセージ

Volume is currently under migration

- 原因

ボリューム移行とSMTapeバックアップは同時に実行できません。

- 対処方法

ボリューム移行が完了してから、バックアップ ジョブを再試行します。

## ボリュームはオフライン

- メッセージ

```
Volume offline
```

- 原因

バックアップ対象のボリュームがオフラインです。

- 対処方法

ボリュームをオンラインに戻してから、バックアップを再試行します。

## Volume not restricted

- メッセージ

```
Volume not restricted
```

- 原因

データのリストア先ボリュームが制限されていません。

- 対処方法

ボリュームを制限して、リストア処理を再試行します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。